

答え

- ドリルやテストが終わったら、うしろの「がんばり表」に色をぬりましょう。
- まちがえたら、かならずやり直しましょう。「考え方」もよみ直しましょう。



➤1. | かけ算 1 ページ

- 1 ① 10 ② 36 ③ 12
④ 40 ⑤ 49 ⑥ 54
- 2 ① 6 ② 6
- 3 ① 7×4 $\begin{cases} 3 \times 4 = 12 \\ 4 \times 4 = 16 \end{cases}$
 合わせて 28
- ② 5×9 $\begin{cases} 5 \times 3 = 15 \\ 5 \times 6 = 30 \end{cases}$
 合わせて 45
- 4 ① 2 ② 2
③ 7 ④ 3

考え方 ② かける数がふえているのか、へっているのかに注目しましょう。

➤2. | かけ算 2 ページ

- 1 ① 8、8、24
式 $(4 \times 2) \times 3 = 24$
 答え 24 本
- ② 6、6、24
式 $4 \times (2 \times 3) = 24$
 答え 24 本
- 2 ① 16 ② 16 ③ 36 ④ 18

考え方 かけるじゅんじょをかえるときに、(1けた)×(1けた)のかけ算になるように組み合わせると、かんたんに計算できます。

➤3. | かけ算 3 ページ

- 1 ① 式 $2 \times 3 = 6$ 答え 6 点
② 式 $4 \times 0 = 0$ 答え 0 点
③ 式 $0 \times 3 = 0$ 答え 0 点
④ 式 $0 + 6 + 2 + 0 = 8$ 答え 8 点
- 2 ① 0 ② 0 ③ 0 ④ 0

考え方 0のかけ算の答えは、すべて0です。

➤4. | かけ算 4 ページ

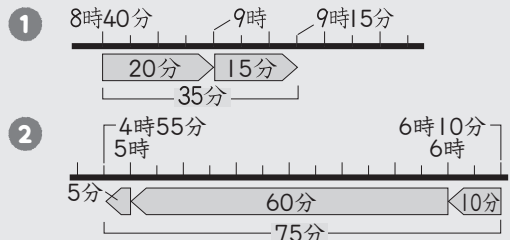
- 1 ① 式 4×10 式 10×4
② 式 4×10 $\begin{cases} 4 \times 3 = 12 \\ 4 \times 7 = 28 \end{cases}$
 合わせて 40
 答え 40 こ
- ③ 式 $4 \times 10 = 4 \times 9 + 4$
 $4 \times 9 + 4 = 40$ 答え 40 こ
- ④ 式 $10 \times 4 = 40$ 答え 40 こ
- 2 ① 30 ② 60 ③ 100

考え方 10のかけ算は、10を分けて計算したり、9をかけたときよりいくつふえているかで考えたりできます。

➤5. | 2 時こくと時間 5 ページ

- 1 (午前)9時15分
- 2 1時間15分
- 3 (午前)10時55分
- 4 6時50分
+3 20
10時10分 答え (午前)10時10分

考え方 図(1目もり5分とします)で考えるとわかりやすくなります。



$6時10分 - 4時55分 = 1時間15分$ と考えます。
筆算で書くと右のようになります。

$$\begin{array}{r} 5 \quad 60 \\ 6 \text{時} 10 \text{分} \\ - 4 \quad 55 \\ \hline 1 \text{時} 15 \text{分} \end{array}$$

13. 3 わり算

13 ページ

- ① ①6 ②7 ③7
 ④8 ⑤7 ⑥9
 ⑦9 ⑧9 ⑨9
 ⑩1 ⑪0 ⑫7
 ⑬10 ⑭20 ⑮11
 ⑯14

- ② ① 式 $42 \div 7 = 6$ 答え 6人
 ② 式 $42 \div 7 = 6$ 答え 6cm

考え方 ② ①と②は、式が同じでも答えのたんいがちがいます。このように、何をもとめるのかということに気をつけて、答えのたんいを書きましょう。

おまけ ① 全部できるようにしましょう。まちがえたら、もう一度やってみましょう。わり算をするときに、九九はとても大切です。しっかり復習しておきましょう。

14. ばい 倍の計算

14 ページ

- ① ① 式 $3 \times 2 = 6$ 答え 6cm
 ② 式 $3 \times 5 = 15$ 答え 15cm
 ③ 式 $4 \times 5 = 20$ 答え 20cm
- ② 式 $12 \div 3 = 4$ 答え 4本分
- ③ 式 $6 \div 2 = 3$ 答え 3倍

考え方 もとにする長さを何倍かすると、全部の長さをもとめることができます。また、全部の長さを、もとにする長さでわると、全部の長さが、もとにする長さの何倍になっているかがわかります。

15. 4 たし算とひき算

15 ページ

- ① ①389 ②578 ③937
 ④697 ⑤989 ⑥754
 ⑦865 ⑧907

② 式 $234 + 362 = 596$

答え 596本

考え方 ① ⑧ 十の位の計算は、0+0だから、0と書きます。

② $234 + 362 = 596$ を筆算でする
 と、右のようになります。たし算 $\begin{array}{r} 234 \\ + 362 \\ \hline 596 \end{array}$
 の筆算では、

- ・位をたてにそろえること
- ・一の位からじゅんに計算することが大切です。

16. 4 たし算とひき算

16 ページ

- ① ①875 ②737 ③963
 ④873 ⑤712 ⑥640
 ⑦929 ⑧803 ⑨900
- ② ① $\begin{array}{r} 739 \\ + 346 \\ \hline 1085 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 675 \\ + 489 \\ \hline 1164 \end{array}$

17. 4 たし算とひき算

17 ページ

- ① ①245 ②561 ③351
 ④732 ⑤350 ⑥210
 ⑦406 ⑧103
- ② 式 $497 - 263 = 234$

答え 234台

考え方 ② $497 - 263$ を筆算
 ですると、右のようになります。 $\begin{array}{r} 497 \\ - 263 \\ \hline 234 \end{array}$
 ひき算の筆算でも、

- ・位をたてにそろえること
- ・一の位からじゅんに計算することが大切です。

18. 4 たし算とひき算

18 ページ

- ① ①115 ②592 ③44
 ④168 ⑤189 ⑥69
 ⑦145 ⑧174 ⑨592
- ② ①215 ②76

考え方 ① 一の位がひけなかったら、十の位から1くり下げて、十の位がひけなかったら、百の位から1くり下げて計算します。

19. 4 たし算とひき算

19
ページ

- ① ①7833 ②6006 ③10000
④2978 ⑤5497 ⑥4999
- ② ①
$$\begin{array}{r} 3637 \\ +4185 \\ \hline 7822 \end{array}$$

②
$$\begin{array}{r} 2581 \\ +7464 \\ \hline 10045 \end{array}$$

③
$$\begin{array}{r} 2258 \\ -1947 \\ \hline 311 \end{array}$$

④
$$\begin{array}{r} 999 \\ 0191910 \\ \hline 4098 \\ -4098 \\ \hline 5902 \end{array}$$

考え方 けた数が多くなっても計算のしかたは2けた、3けたのときと同じです。

20. 4 たし算とひき算

20
ページ

- ① ① $498+310$
 $+2\downarrow \quad \downarrow -2$
 $\boxed{500}+308=\boxed{808}$
② $703-98$
 $+2\downarrow \quad \downarrow +2$
 $705-\boxed{100}=\boxed{605}$
③ $398+260$
 $+2\downarrow \quad \downarrow -2$
 $400+258=658$
④ $397+420$
 $+3\downarrow \quad \downarrow -3$
 $400+417=817$
⑤ $500-396$
 $+4\downarrow \quad \downarrow +4$
 $504-400=104$
⑥ $400-95$
 $+5\downarrow \quad \downarrow +5$
 $405-100=305$
- ② ① $756+32+68=756+(32+68)$
 $=756+100$
 $=\boxed{856}$
② $26+589+74=(26+74)+589$
 $=100+589$
 $=689$
③ $49+51+283=(49+51)+283$
 $=100+283$
 $=383$

④ $695+13+87=695+(13+87)$
 $=695+100$
 $=795$

- ③ ① 十の位から計算すると、 $40+10=50$ 、
 $8+9=17$ 、 $50+17=67$
② $60+20=80$ 、
 $4+8=12$ 、 $80+12=92$
③ $74-50=24$ 、 $24-8=16$
④ $81-20=61$ 、 $61-9=52$

考え方 ①、② 100、200、300...などのように、計算しやすい数にしましょう。

21. 4 たし算とひき算

21
ページ

- ① ①619 ②675 ③1203
④6106 ⑤10000 ⑥218
⑦194 ⑧48 ⑨5587
- ② ① $480+299$
 $-1\downarrow \quad \downarrow +1$
 $479+300=779$
② $700-597$
 $+3\downarrow \quad \downarrow +3$
 $703-600=103$
③ $57+874+43$
 $=(57+43)+874$
 $=100+874$
 $=974$
- ③ ①87 ②63
③29 ④48
- ④ ① $\overset{しき}{\text{式}} 384-269=115$
答え きのが、115まい多い。
② $\text{式 } 384+269=653$
答え 653まい

考え方 ② ③3つの数をたすときは、じゅんじょをかえて、計算しやすくなるようにくふうしましょう。

④ ① 答えの書き方に気をつけましょう。「どちら」と「何まい」をきっちり書きましょう。

**おうちの
かたへ** ③ 暗算は、はやく正確にできるようにしましょう。

22. 5 ひょう 表とグラフ

22 ページ

1 すきな色調べ

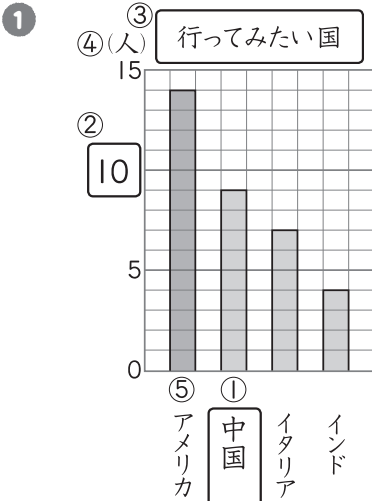
色	人数(人)	
赤	① 正下	8
青	正下	9
黄	正一	② 6
緑	正下	7
その他	正	5
合計	③	35

- ④ 青
⑤ ピンクと白
(白とピンク)

考え方 ① ⑤「その他」には、表にかかれていない色が入ります。「白とピンク」という答え方でもいいでしょう。

23. 5 ひょう 表とグラフ

23 ページ



- 2 ① 2人 ② 8人 ③ 4人

考え方 ① 表をもとにして、グラフをかいていきましょう。このようなたてに長いグラフのほかに、横に長いグラフもあります。
② ③ 木曜日にけっせきしたのは、16人。水曜日にけっせきしたのは、12人だから、 $16-12=4$ で、4人。

24. 5 ひょう 表とグラフ

24 ページ

1 すきなスポーツ(2組)

スポーツ	人数(人)
野球	10
ドッジボール	8
バレーボール	4
サッカー	13
合計	① 35

② 9人

2 すきなスポーツ(3年生)

スポーツ	組	1組	2組	3組	合計
野球		12	10	14	36
ドッジボール		5	8	7	② 20
バレーボール		6	4	① 2	12
サッカー		9	13	11	33
合計		32	35	34	⑤ 101

- ③ 33人 ④ 野球

考え方 ② ⑤は、 $32+35+34=101$ か、 $36+20+12+33=101$ のどちらでもとめてもかまいません。

25. 6 長さ

25 ページ

- 1 ① 1m10cm ② 6m35cm
2 ① い ② う ③ あ
3 ① い ② あ ③ う
4 1m90cm

考え方 ④ 90cmのすぐ右に2mと書いてあるので、1m90cmだとわかります。

26. 6 長さ

26 ページ

- 1 ① 道のり…^{しき}式 $620+940=1560$
答え 1560m
きより…1200m
② 道のり…式 $950+340=1290$
答え 1km290m
きより…1km70m
③ 式 $1560-1290=270$
答え 公園から学校までの道のりのほうが270m長い。

考え方 ① ② 道のりは1290mなので1km290mにし、きよりは1070mなので1km70mにします。

27. かけ算/時こくと時間

27 ページ

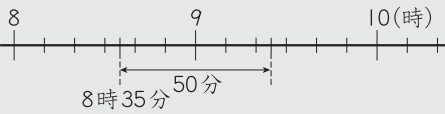
- ★ ① 0 ② 50 ③ 70
★ ① 4 ② 8 ③ 7 ④ 6
★ 式 $3 \times 2 \times 5 = 30$ 答え 30本
★ 式 $8時35分 + 50分 = 9時25分$
答え (午前)9時25分
★ 式 $3時10分 - 1時40分 = 1時30分$
答え 1時間30分

考え方 時と分を分けて計算します。

$$\begin{array}{r} \star 4 \quad 8 \text{時} 35 \text{分} \\ + \quad 50 \\ \hline 9 \text{時} 25 \text{分} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \star 5 \quad \begin{array}{r} 2 \quad 60 \\ 3 \text{時} 10 \text{分} \\ - 1 \quad 40 \\ \hline 1 \text{時} 30 \text{分} \end{array} \end{array}$$

★ は図を使うとわかりやすくなります。



おうちの **★** 時こくや時間を考えるときに、わかりにくかったら、図をかいて考えましょう。

28. わり算／たし算とひき算

28 ページ

- ★** ① 4 ② 6 ③ 9
 ④ 5 ⑤ 6 ⑥ 8
 ⑦ 1 ⑧ 0 ⑨ 0
 ⑩ 5 ⑪ 20 ⑫ 11

★ 式 $30 \div 6 = 5$

答え 5 箱

- ★** ① 911 ② 1403 ③ 9121
 ④ 238 ⑤ 597 ⑥ 6569

- ★** ① $398 + 580$
 $+ 2 \downarrow \quad \downarrow - 2$
 $400 + 578 = 978$
 ② $900 - 696$
 $+ 4 \downarrow \quad \downarrow + 4$
 $904 - 700 = 204$
 ③ $62 + 564 + 38$
 $= (62 + 38) + 564$
 $= 100 + 564$
 $= 664$

考え方 **★** 100、200、300、400…などのように、計算しやすい数にしましょう。

おうちの **★** 3けた、4けたのたし算とひき算はたいせつなので、しっかり計算できるようにしましょう。

★ ② ひかれる数とひく数に4をたすことに注意しましょう。

29. ひょうとグラフ／長さ

29 ページ

- ★** ① 1 さつ ② 13 さつ ③ 物語
★ ① 2 ② 8000
 ③ 1、800 ④ 4500
★ 道のり…1km260m
 きより…1km100m

考え方 **★** 道のりは、 $670 + 590 = 1260$ で、1260mは1km260mです。

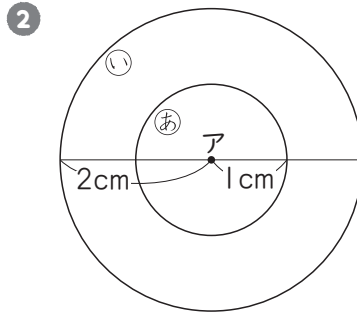
おうちの **★** 1km=1000mと覚えておきましょう。

★ 長さの計算では、3けたのたし算やひき算が多いので、くり上がりや、くり下がりに気をつけましょう。

30. 7 円と球

30 ページ

- 1** ① 半径 ② 等しく
 ③ 直径 ④ 直径



3 (しょうりやく)

考え方 **1** |つの点からの長さが等しくなるようにかいたまるい形を、円といいます。その|つの点を円の中心、中心から円のまわりまで引いた直線を半径といいます。円の中心を通り、円のまわりからまわりまで引いた直線を、直径といいます。

3 正方形の4つのちょう点を、それぞれ円の中心と考えて円の一部分をかきます。

31. 7 円と球

31 ページ

- 1** 3cm
2 ① アエ ② 2cm
3 8cm
4 い

考え方 2 ① 直線アエは、円の直径^{ちよっけい}です。直径は、円のまわりからまわりまで引いた直線の中で、いちばん長い直線です。
 ② 直径の長さは、半径^{はんけい}の長さの2倍なので、半径の長さは、 $4 \div 2 = 2$ で、2cmです。
 ③ 正方形の中に、円がぴったり入っているので、円の直径は、正方形の1辺^{へん}と同じ長さになっています。

32. 7 円と球 32 ページ

- ① ①(球の)中心
 ②㉠(球の)半径 ㉡(球の)直径
 ③6cm

② ウ

考え方 2 球を切った切り口がいちばん大きくなるのは、球の中心を通るように切ったときです。

33. 8 あまりのあるわり算 33 ページ

- ① 式 $13 \div 4 = 3$ あまり①
 答え ③こになって、①こあまる
 ② 式 $24 \div 5 = 4$ あまり④
 答え ④人に分けられて、④こあまる
 ③ ①2、2 ②9、1
 ③2、2 ④2、5

34. 8 あまりのあるわり算 34 ページ

- ① ①4、4 ②3、5
 ③2、3 ④1、1
 ② 式 $39 \div 8 = 4$ あまり7
 答え 4ふくろできて、7こあまる
 ③ 式 $33 \div 6 = 5$ あまり③
 たしかめ $6 \times 5 + 3 = 33$
 答え 5ふくろできて、3こあまる
 ④ ①1あまり4
 たしかめ $5 \times 1 + 4 = 9$
 ②8あまり6
 たしかめ $8 \times 8 + 6 = 70$

考え方 あまりがあるときは、あまりがわる数より小さいことをたしかめましょう。

35. 8 あまりのあるわり算 35 ページ

- ① 式 $32 \div 6 = 5$ あまり②
 $5 + 1 = 6$ 答え 6回
 ② 式 $41 \div 8 = 5$ あまり1
 $5 + 1 = 6$ 答え 6日
 ③ ① 式 $31 \div 7 = 4$ あまり3
 答え 4はんできて、3人のこる
 ②7人のはん…1ぱん、8人のはん…3ぱん
 ④ 式 $53 \div 7 = 7$ あまり4
 答え 7こ

考え方 ここでは、答えを考えるときに、あまりの分を考えるのか考えないのかに気をつけます。

- ② あまりの1ページを読むのにもう1日かかるので、答えは5日ではなく6日です。
 ③ ②のこりの3人を、1人ずつ7人のはんにいれて8人のはんを作ります。8人のはんが3つできるので、7人のはんは $4 - 3 = 1$ となり、1つです。
 ④ シール4まいではおかしとひきかえられないので、あまりの分は考えません。

36. 8 あまりのあるわり算 36 ページ

- ① ①2あまり2
 たしかめ $3 \times 2 + 2 = 8$
 ②3あまり1
 たしかめ $6 \times 3 + 1 = 19$
 ③4あまり3
 たしかめ $5 \times 4 + 3 = 23$
 ④3あまり4
 たしかめ $9 \times 3 + 4 = 31$
 ⑤8あまり4
 たしかめ $7 \times 8 + 4 = 60$
 ⑥6あまり5
 たしかめ $8 \times 6 + 5 = 53$
 ② 式 $27 \div 6 = 4$ あまり3
 答え 4人に分けられて、3本あまる
 ③ ① 式 $31 \div 4 = 7$ あまり3
 答え 7はんできて、3人のこる
 ②4人のはん…4はん、5人のはん…3ぱん

考え方 3 ②のこりの3人を、1人ずつ4人のはんにいれて5人のはんを作ります。5人のはんが3つできるので、4人のはんは $7-3=4$ となり、4つです。また、次のように考えることもできます。31人から4人ずつじゅんにひいていって、5でわり切れる数になればやめます。 $31-4=27$ 、 $27-4=23$ 、 $23-4=19$ 、 $19-4=15$ 。15は5でわり切れるので、ここまでです。4を4回ひけたので、4人のはんは4はんであることがわかります。また、 $15\div5=3$ だから、5人のはんは3ぱんです。

おうちの あまりのあるわり算では、あまりがわる数より小さくなることをしっかりと理解しましょう。

37. 9 (2けた) \times (1けた)の計算 **37** ページ

1 ① 式 12×3
 ② 12×3 $\left\{ \begin{array}{l} 2 \times 3 = 6 \\ 10 \times 3 = 30 \end{array} \right.$
 合わせて 36
 答え 36 こ

2 17×4 $\left\{ \begin{array}{l} 7 \times 4 = 28 \\ 10 \times 4 = 40 \end{array} \right.$
 合わせて 68

考え方 (2けた) \times (1けた)の計算は、2けたの数を一の位と十の位に分けてかけ算をします。12は2と10、17は7と10、というふうにします。

38. 10 1けたをかけるかけ算 **38** ページ

- 1 ① 式 30×5 ② 答え 150円
 2 ① 式 200×4 ② 答え 800円
 3 ① 40 ② 120 ③ 200
 ④ 800 ⑤ 1200 ⑥ 3000

考え方 何十、何百のかけ算は、10や100のまとまりを考えて、九九を使って計算できます。

3 ⑥ 500は、100が5こ。500 \times 6は、5 \times 6=30で、100が30こだから、500 \times 6=3000です。

39. 10 1けたをかけるかけ算 **39** ページ

- 1 ① 式 43×2
 ② 43×2 $\left\{ \begin{array}{l} 3 \times 2 = 6 \\ 40 \times 2 = 80 \end{array} \right.$
 合わせて 86
 答え 86円
 2 ① 62 ② 88 ③ 63
 ④ 48 ⑤ 96 ⑥ 84

考え方 (2けた) \times (1けた)の筆算は、一の位、十の位のじゅんで計算します。

40. 10 1けたをかけるかけ算 **40** ページ

- 1 ① 168 ② 84 ③ 272
 ④ 200 ⑤ 78 ⑥ 474
 ⑦ 189 ⑧ 90 ⑨ 756
 2 ① 512 ② 222 ③ 423
 ④ 312 ⑤ 510 ⑥ 203

考え方 くり上がって、答えが3けたになる計算に気をつけましょう。また、0をわすれずに書きましょう。

1 ④ $\begin{array}{r} 40 \\ \times 5 \\ \hline 200 \end{array}$ ⑥ $\begin{array}{r} 79 \\ \times 6 \\ \hline 474 \end{array}$ ⑨ $\begin{array}{r} 84 \\ \times 9 \\ \hline 756 \end{array}$

2 十の位でくり上がりがある計算はまちがえやすいので、注意しましょう。

① $\begin{array}{r} 64 \\ \times 8 \\ \hline 512 \end{array}$ ⑤ $\begin{array}{r} 85 \\ \times 6 \\ \hline 510 \end{array}$ ⑥ $\begin{array}{r} 29 \\ \times 7 \\ \hline 203 \end{array}$

41. 10 1けたをかけるかけ算 **41** ページ

- 1 ① 246 ② 639 ③ 862
 ④ 848 ⑤ 286 ⑥ 663
 ⑦ 642
 2 ① 1868 ② 3564 ③ 1458

考え方 (3けた)×(1けた)の筆算も、(2けた)×(1けた)のときと同じように、一の位からじゅんに計算します。百の位もわずれずに計算しましょう。一の位、十の位、百の位と、位をたてにそろえて計算しましょう。

42. 10 1けたをかけるかけ算 42ページ

- ① ①2310 ②1008 ③2982
④6152 ⑤5004 ⑥1038
⑦5523 ⑧1725 ⑨1934
⑩1938
- ② ①1280 ②4540 ③3200

考え方 ① 百の位を計算して2けたになったり、十の位からのくり上がりをたすと2けたになるときは、千の位に書きます。

⑤ 一の位→十の位→百の位と、つぎつぎくり上がっていきます。

一の位 834 × 6 — 2 6 4	十の位 834 × 6 — 2 6 04	百の位 834 × 6 — 5004
------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------

- ② かけられる数の一の位だけが0のときは、先に十の位、百の位を計算して、後で答えの右に0を1こつけます。また、十の位と一の位に0があるときは、百の位を計算してから答えの右に0を2こつけます。
- ① 64×2 を計算してから、128に0を1こつけて1280とします。
- ③ 8×4 を計算してから、32に0を2こつけて3200とします。

43. 10 1けたをかけるかけ算 43ページ

- ① ①84 ②84
③276 ④276
- ② ①66 ②84 ③92
④224 ⑤390 ⑥210

44. 10 1けたをかけるかけ算 44ページ

- ① ①74 ②248 ③249
④468 ⑤232 ⑥414
- ② ①696 ②1950 ③5016
④3280 ⑤4249 ⑥2700
- ③ ①96 ②270
- ④ 式 $936 \times 8 = 7488$

答え 7488円

考え方 ② ②、③(3けた)×(1けた)で、くり上がりが2回あるものは、注意して計算しましょう。

④ $\boxed{\text{かさ1本のねだん}} \times \boxed{\text{本数}} = \boxed{\text{代金}}$ となります。これにあてはめて、計算をしましょう。

936×8 の筆算は、右の $\begin{array}{r} 936 \\ \times 8 \\ \hline 7488 \end{array}$ ようになります。

おうちの (2けた)×(1けた)、(3けた)×(1けた)で、①④~⑥や②②、③など、くり上がりのある計算をしっかりとできるようにしましょう。

45. 11 大きい数 45ページ

- ①
- | | | | | |
|------|-----|-----|-----|-----|
| 一万の位 | 千の位 | 百の位 | 十の位 | 一の位 |
| 1 | 3 | 2 | 1 | 4 |
- ② ①56793 ②90020
③60000 ④31582
⑤81805 ⑥73450000
- ③ ①5、4、9、2、3
②8、3、4、5

考え方 ① 一万を1こと、千を3こと、百を2こと、十を1こと、一を4こ合わせた数を表しています。

② ⑤ 十の位は、かん字では書かれていませんが、数字では0を書きます。

例 三百五 → 305

考え方 ① すうちよくせん 数直線では、右へいくほど数が大きくなります。

- ②** あつ ③ 0.1 を 10 こ集あつめた数が 1 だから、0.1 を 20 こ集めた数は 2 です。2 と 0.1 が 5 こで、2.5 です。

52. 12 小数

52 ページ

- ①** ① 0.5+0.3
② 5、3、3 答え 0.8L
- ②** ① 1.3 ② 8.2 ③ 4.1
④ 9 ⑤ 5.2

考え方 ② ① 0.1 が 10 こ集まると、1 くり上がって、1 つ上の位ぐらゐにうつります。0.1 が 13 こで、1.3 です。
④ 小数の位のさいごが 0 になったら、その 0 に線をひいて消します。
⑤ 5 は、5.0 と考えて計算します。
ひっさん 筆算は、小数点の位置をたてにそろえて書き、位をそろえて計算します。

53. 12 小数

53 ページ

- ①** ① 0.6 ② 2.4 ③ 5.3
④ 1.7 ⑤ 5.6
- ②** ①
$$\begin{array}{r} 4.8 \\ -2.3 \\ \hline 2.5 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 3.4 \\ -1.8 \\ \hline 1.6 \end{array}$$
 ③
$$\begin{array}{r} 8.2 \\ -0.6 \\ \hline 7.6 \end{array}$$
- ④
$$\begin{array}{r} 5.7 \\ -4.9 \\ \hline 0.8 \end{array}$$
 ⑤
$$\begin{array}{r} 7.0 \\ -6.2 \\ \hline 0.8 \end{array}$$

考え方 ① ④ くり下がりに注意ちゆういして計算します。1 は、0.1 の 10 こ分だから、整数せいすうのひき算と同じように考えて計算します。
② ④ くり下がりががあるので、一の位は 0 になります。0 と小数点を書きわすれないように注意しましょう。

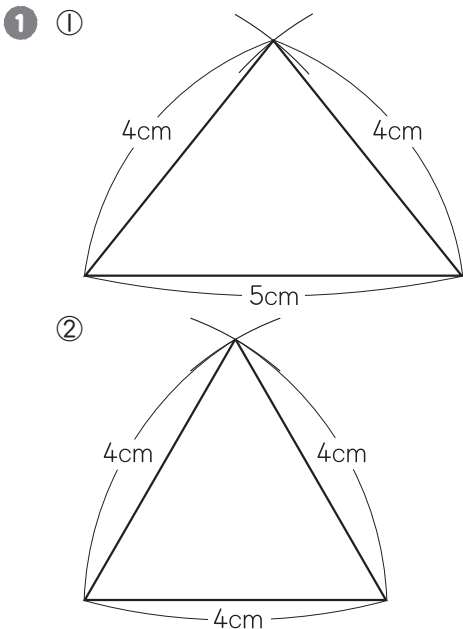
54. 13 三角形と角

54 ページ

- ①** ① 二等辺三角形 ② 正三角形
- ②** 二等辺三角形…①、②
正三角形…③、④

55. 13 三角形と角

55 ページ



- ②** ① 正三角形 ② 二等辺三角形
③ 二等辺三角形

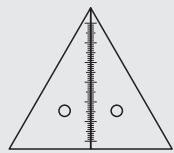
考え方 ① ① 長さ 5cm の辺へんのりょうはして、それぞれを中心にして、コンパスで半径 4cm の円の一部をかきます。2 つの円の一部が交わった点と、長さ 5cm の辺のりょうはしをそれぞれ直線でおすびます。
② それぞれの三角形の 2 つの辺は、円の半径はんけいです。直径ちようけいの長さは、半径の長さの 2 倍ですから、半径の長さは 3cm です。
④ の三角形は、3 つの辺が 3cm で等しいので、正三角形です。① の三角形は、2 つの辺が 3cm で等しいので、二等辺三角形です。

56. 13 三角形と角

56 ページ

- ①** ①
② ① 2 ② 3
③ ① ② ② ③、④
④ ③

考え方 ① 角の大きさは、辺の長さにはかんけいがありません。
④ ③ の三角じょうぎを、右の図のように組み合わせると正三角形ができます。



57. 円と球/あまりのあるわり算
1けたをかけるかけ算

57
ページ

- ① 円
 ② ㊦(円の)中心 ㊧(円の)半径
 ㊨(円の)直径

① 4あまり 2
 たしかめ $3 \times 4 + 2 = 14$

② 9あまり 2
 たしかめ $7 \times 9 + 2 = 65$

③ 3あまり 4
 たしかめ $6 \times 3 + 4 = 22$

④ 6あまり 4
 たしかめ $8 \times 6 + 4 = 52$

③ 式 $41 \div 6 = 6$ あまり 5
 答え 6こになって、5こあまる

- ① 95 ② 776 ③ 413
 ④ 486 ⑤ 6118 ⑥ 2832

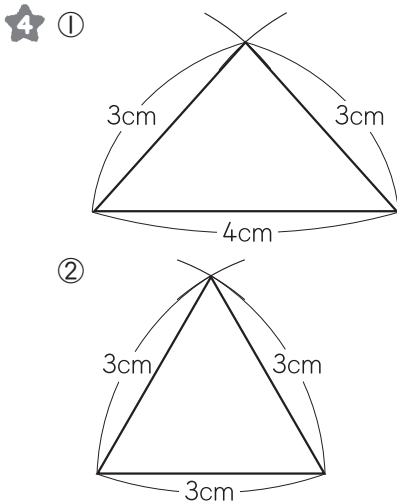
考え方 ① ② 直径の長さは、半径の長さの2倍です。

④ ⑤ くり上がりが2回あるものは、注意して計算しましょう。

58. 大きい数/小数/三角形と角

58
ページ

- ① 10万 ② 460万
 ① 650 ② 90000
 ③ 28
 ① 1.3 ② 7.2 ③ 9
 ④ 0.5 ⑤ 0.6 ⑥ 0.8



考え方 ③ ④~⑥ はくり下がりにあるの
 で、一の位は0になります。0と小数点
 を書きわすれないように注意しましょう。

④ ⑤ ⑥ では三角形の向きにかかわらず、
 各辺の長さが合っていれば正答です。

59. 14 2けたをかけるかけ算

59
ページ

① 式 $6 \times 20 = 6 \times 2 \times 10$
 $= 12 \times 10$
 $= 120$

答え 120本

② $60 \times 20 = 6 \times 10 \times 2 \times 10$
 $= 6 \times 2 \times 10 \times 10$
 $= 12 \times 100$
 $= 1200$

- ③ ① 80 ② 240 ③ 300
 ④ 630 ⑤ 600 ⑥ 4800
 ⑦ 3500 ⑧ 3600 ⑨ 5400

考え方 ③ ① $2 \times 4 = 8$ を先に計算して、
 0を1つつければよいので80となります。

60. 14 2けたをかけるかけ算

60
ページ

① ① 10、48、10、240、288
 ② 48、24、288

② ① $\begin{array}{r} 32 \\ \times 21 \\ \hline 64 \\ 672 \end{array}$ ② $\begin{array}{r} 28 \\ \times 32 \\ \hline 56 \\ 896 \end{array}$ ③ $\begin{array}{r} 16 \\ \times 48 \\ \hline 128 \\ 768 \end{array}$

考え方 (2けた)×(2けた)のかけ算の筆算
 は、まず、かける数の一の位の計算をし
 ます。次に、かける数の十位の計算をして、
 その2つをたします。かける数の十位の
 計算の答えを書くところに気をつけま
 しょう。

61. 14 2けたをかけるかけ算 61 ページ

① ①
$$\begin{array}{r} 62 \\ \times 87 \\ \hline 434 \\ 496 \\ \hline 5394 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 16 \\ \times 79 \\ \hline 144 \\ 112 \\ \hline 1264 \end{array}$$
 ③
$$\begin{array}{r} 27 \\ \times 98 \\ \hline 216 \\ 243 \\ \hline 2646 \end{array}$$

② ①あ
$$\begin{array}{r} 45 \\ \times 60 \\ \hline 00 \\ 270 \\ \hline 2700 \end{array}$$
 ②あ
$$\begin{array}{r} 70 \\ \times 69 \\ \hline 630 \\ 420 \\ \hline 4830 \end{array}$$

①い
$$\begin{array}{r} 45 \\ \times 60 \\ \hline 2700 \end{array}$$
 ①い
$$\begin{array}{r} 69 \\ \times 70 \\ \hline 4830 \end{array}$$

③ ①
$$\begin{array}{r} 17 \\ \times 86 \\ \hline 102 \\ 136 \\ \hline 1462 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 78 \\ \times 40 \\ \hline 3120 \end{array}$$
 ③
$$\begin{array}{r} 53 \\ \times 60 \\ \hline 3180 \end{array}$$

考え方 ① くり上がりに気をつけて計算しましょう。くり上がりの数を小さく書いておくと、べんりです。

② 一の位の計算は、 9×1 にくり上がりの5をたすと14になるので、十の位に4、百の位に1を書きます。

② 0のある計算は、0のある数をかける数にしてから計算するとかんたんになります。

③ 360×53 は、 53×60 にしてから筆算をするとかんたんになります。

62. 14 2けたをかけるかけ算 62 ページ

- ① ①30、426、30、6390、6816
②426、639、6816

② ①
$$\begin{array}{r} 413 \\ \times 21 \\ \hline 413 \\ 826 \\ \hline 8673 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 279 \\ \times 63 \\ \hline 837 \\ 1674 \\ \hline 17577 \end{array}$$
 ③
$$\begin{array}{r} 415 \\ \times 28 \\ \hline 3320 \\ 830 \\ \hline 11620 \end{array}$$

④
$$\begin{array}{r} 503 \\ \times 50 \\ \hline 25150 \end{array}$$
 ⑤
$$\begin{array}{r} 800 \\ \times 80 \\ \hline 64000 \end{array}$$

- ③ ①1000 ②130 ③1500

考え方 ② (3けた) \times (2けた)の筆算は、(2けた) \times (2けた)の筆算のしかたをもとにしましょう。

③ ① かけられる数を十の位、一の位に分けて考えます。

$20 \times 40 = 800$ 、 $5 \times 40 = 200$ だから、 $800 + 200 = 1000$ です。

②、③ は、かけるじゅんじょをかえて計算しても、答えが同じになるというきまりを使います。

② $5 \times 2 = 10$ 、 $13 \times 10 = 130$ です。

③ $25 \times 4 = 100$ 、 $15 \times 100 = 1500$ です。

63. 14 2けたをかけるかけ算 63 ページ

- ① ①320 ②3000 ③7200

② ①
$$\begin{array}{r} 14 \\ \times 21 \\ \hline 14 \\ 28 \\ \hline 294 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 74 \\ \times 69 \\ \hline 666 \\ 444 \\ \hline 5106 \end{array}$$
 ③
$$\begin{array}{r} 67 \\ \times 89 \\ \hline 603 \\ 536 \\ \hline 5963 \end{array}$$

④
$$\begin{array}{r} 89 \\ \times 70 \\ \hline 6230 \end{array}$$
 ⑤
$$\begin{array}{r} 523 \\ \times 12 \\ \hline 1046 \\ 523 \\ \hline 6276 \end{array}$$
 ⑥
$$\begin{array}{r} 680 \\ \times 38 \\ \hline 5440 \\ 2040 \\ \hline 25840 \end{array}$$

③ ①
$$\begin{array}{r} 38 \\ \times 24 \\ \hline 152 \\ 76 \\ \hline 912 \end{array}$$
 ②
$$\begin{array}{r} 46 \\ \times 97 \\ \hline 322 \\ 414 \\ \hline 4462 \end{array}$$
 ③
$$\begin{array}{r} 405 \\ \times 60 \\ \hline 24300 \end{array}$$

- ④ ①1400 ②1200

考え方 ④ かけるじゅんじょをかえて計算しても、答えが同じになるというきまりを使います。

① $4 \times 50 = 200$ 、 $7 \times 200 = 1400$ です。

② $20 \times 5 = 100$ 、 $12 \times 100 = 1200$ です。

きょうごのかた かけ算を書くところや、くり上がりに気をつけて計算しましょう。

64. 15 分数

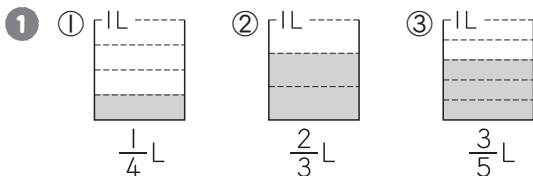
64 ページ

- ① ① $\frac{1}{2}$ ② $\frac{1}{9}$ ③ $\frac{1}{6}$ ④ $\frac{1}{8}$

考え方 ① ③ 6こ分で1mになるはしたの長さは、1mを6こに等しく分けた1こ分の長さと同じです。この長さを $\frac{1}{6}$ m(六分の一メートル)といいます。

65. 15 分数

65 ページ



- ② ① $\frac{3}{4}$ ② $\frac{2}{5}$ ③ $\frac{4}{5}$ ④ $\frac{7}{8}$

- ③ $\frac{4}{9}$ m

考え方 ③ $\frac{1}{9}$ m の 4 こ分の長さですから、 $\frac{4}{9}$ m になります。

66. 15 分数

66 ページ

- ① ① 4 ② $\frac{3}{7}$ ③ 7 ④ $\frac{5}{7}$

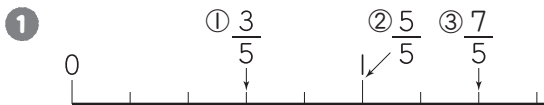
② $\frac{5}{5}$ L = ① L

- ③ ① > ② <

考え方 ② 分数では、分母と分子が同じ数のときは、1と等しくなります。

67. 15 分数

67 ページ



- ② $\frac{1}{10}$ 、 $\frac{4}{10}$ 、 $\frac{5}{10}$ 、 $\frac{7}{10}$ 、 $\frac{8}{10}$
0.2、0.3、0.6、0.8、0.9

- ③ ① $\frac{8}{10}$ m ② $\frac{6}{10}$ m、0.6 m

- ④ ① < ② < ③ >
④ = ⑤ <

考え方 $\frac{1}{10} = 0.1$ です。 $\frac{1}{10}$ も 0.1 も 10こ合わせると1になる数です。

68. 15 分数

68 ページ

- ① ① 3、2、5 ② 5、2、3

- ② ① $\frac{2}{3}$ ② $\frac{5}{6}$ ③ $\frac{4}{5}$

- ④ 1 ⑤ $\frac{1}{3}$ ⑥ $\frac{2}{5}$

- ⑦ $\frac{2}{9}$ ⑧ $\frac{4}{7}$ ⑨ $\frac{1}{5}$

③ 式 $\frac{3}{8} + \frac{4}{8} = \frac{7}{8}$ 答え $\frac{7}{8}$ L

④ 式 $\frac{8}{9} - \frac{2}{9} = \frac{6}{9}$ 答え $\frac{6}{9}$ L

考え方 ② ① $\frac{1}{3} + \frac{1}{3}$ は、 $\frac{1}{3}$ が(1+1)こで $\frac{2}{3}$ です。

⑤ $\frac{2}{3} - \frac{1}{3}$ は、 $\frac{1}{3}$ が(2-1)こで $\frac{1}{3}$ です。

69. 16 おも重さ

69 ページ

- ① ① 6 ② 23 ③ 32

- ② ① 1000 ② 5 ③ 400

- ③ ① 2 ② 10 ③ 1、800、1800

- ④ ① 2000 ② 5

考え方 ① 一円玉 | この重さは、1g ということをおぼえておきましょう。

70. 16 重さ

70 ページ

- ① ① 100 ② 10 ③ 1000

- ④ 1000 ⑤ 1000 ⑥ 1000

- ② ① 200 ② 3、700

- ③ 67、500 ④ 4.6

- ⑤ 10.4

- ③ 鉄てつの球たま

71. 16 おも 重さ 71 ページ

- ① ① 式 $200 + 900 = 1100$
 答え 1100g
- ② 1kg100g
- ② 式 $350 + 800 = 1150$
 答え 1kg150g
- ③ 式 $2100 - 700 = 1400$
 答え 1kg400g
- ④ 式 $8000 - 3500 = 4500$
 答え 4500kg

考え方 図をかいて考えましょう。

②

72. 17 □を使った式 72 ページ

- ① ① ^{ぜんたい}全体 ①りんご
- ② 入れ物の重さ、全体の重さ
- ③ 100、500
- ④ 500、100、400 答え 400g
- ② ① 式 $600 + \square = 800$
 $(\square + 600 = 800)$
- ② $\square = 800 - 600 = 200$
 答え 200g

考え方 ② 図をかいて考えましょう。

73. 17 □を使った式 73 ページ

- ① ① ^も持っていたお金 ①のこり
- ② 持っていたお金、ジュースのねだん
- ③ 130、170
- ④ 170、300 答え 300円
- ② ① 式 $\square - 25 = 29$
- ② $\square = 29 + 25 = 54$
 答え 54こ

考え方 ② (はじめの数) - (売れた数) = (のこった数)です。

74. 17 □を使った式 74 ページ

- ① ① ^{だいきん}代金 ①買った数
- ② 買った数、代金
- ③ 10、600
- ④ 600、10、60 答え 60円
- ② ① 式 $\square \div 6 = 9$
- ② $\square = 9 \times 6 = 54$ 答え 54こ

考え方 ② 図をかいて考えましょう。

75. 18 しりょうの活用 75 ページ

- ① ①右の表
- | 町名 | 組 | 1組 | 2組 | 3組 | 合計 |
|----|---|----|----|----|----|
| 東町 | | 9 | 5 | 8 | 22 |
| 西町 | | 10 | 9 | 7 | 26 |
| 南町 | | 7 | 11 | 10 | 28 |
| 北町 | | 6 | 8 | 7 | 21 |
| 合計 | | 32 | 33 | 32 | 97 |
- ② 10、15
- ③ 22人
- ④ 1組
- ⑤ 南町

考え方 ① ^{ひょう}表や^{あらい}グラフに表すと、くらべやすくなります。

① ^{よこ}横の合計とたての合計は、どちらも97人です。

76. 19 そろばん 76 ページ

- ① ① 14 ② 60
- ③ 351 ④ 907
- ⑤ 4295 ⑥ 5001
- ⑦ 57348 ⑧ 29015
- ⑨ 5.2 ⑩ 16.8

考え方 ① ^{ていいてん}そろばんは、^{くわい}定位点の1つを一の位として、左に十の位、百の位、千の位……となります。一だまは、一の位では1、十の位では10、百の位では100、千の位では1000を表します。また、五だまは、一の位では5、十の位では50、百の位では500、千の位では5000を表します。そして、たまがもとのところにあるときは、0を表します。

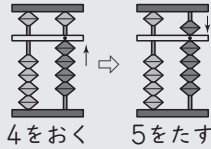
77. 19 そろばん

77 ページ

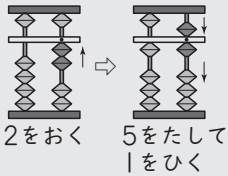
- ① ①9 ②7 ③8 ④6
 ⑤2 ⑥2 ⑦3 ⑧2
- ② ①12 ②11 ③14
 ④9 ⑤9 ⑥5
- ③ ①9万 ②4万 ③0.9
 ④1.8 ⑤0.1 ⑥4.3

考え方

①



④4はそのままたせないから、5をたして、よぶんな1をひきます。



② ①4はそのままたせないの、6をひいて、10をたします。

⑤5はそのままひけないので、まず10をひいて、ひきすぎた5をたします。

78. かけ算/わり算/たし算とひき算
 小数/分数/□を使った式

78 ページ

- ① ①4023 ②4878 ③8215
 ④ 78 ⑤ 780 ⑥ 406

$$\begin{array}{r} \\ \times 59 \\ \hline 702 \\ 390 \\ \hline 4602 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \\ \times 42 \\ \hline 1560 \\ 3120 \\ \hline 32760 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} \\ \times 60 \\ \hline 24360 \end{array}$$
- ⑦2 ⑧7あまり6 ⑨8あまり1
 ⑩1.6 ⑪4.6 ⑫5.9
 ⑬ $\frac{3}{6}$ ⑭ $\frac{2}{8}$ ⑮ $\frac{4}{7}$

☆ 式 □×9=72

□=72÷9=8

答え 8こ

☆ ③7215+(250+750)
 =7215+1000=8215

と計算します。

おうちのかたべ

☆ ⑧、⑨のようなあまりのあるわり算では、かならず、確かめをしましょう。

79. 時こくと時間/長さ/おもむき

79 ページ

- ☆ ①1000 ②2, 240 ③60
 ④2, 13 ⑤2000 ⑥1, 840
- ☆ ① 式 7分23秒-6分51秒=32秒
 答え 32秒
- ② 式 10時40分+2時30分
 =13時10分
 答え 13時10分(午後1時10分)
- ☆ ① 式 670+890=1560
 (890+670=1560)
 答え 1560g
- ② 1kg560g
- ③ 式 890-670=220
 答え 220g

おうちのかたべ

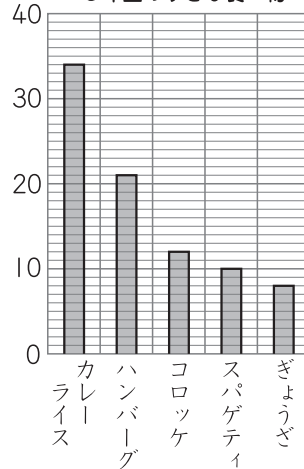
1km=1000m、1t=1000kg、
 1kg=1000g、1時間=60分、
 1分=60秒は、かならず、覚えておきましょう。

80. 円と球/三角形と角/しりょうの活用

80 ページ

- ☆ 正三角形
- ☆ ①ア34 イ21 ウ12
 エ10 オ8

② (人) 3年生のすきな食べ物



☆ 三角形の3つの辺は、どれも円の半径です。

おうちのかたべ

☆ 棒グラフのかき方を、もう一度教科書で確かめておきましょう。